

③スポーツへのアクセス向上～普及・強化～

ウガンダ「TICAD CUP 2022」

2022年8月19～21日



日本の団体・企業寄贈のスパイクとユニフォームで初勝利した難民と難民受入れ地域混成チーム

背景/課題

アフリカ最大の150万人以上の難民を受け入れるウガンダでは、難民とその受入れ地域住民の相互理解が十分に図られておらず、市民の難民に対する認知度は低い。また、「スポーツは男子が行うもの」との考えが強いため、女子スポーツの認知度向上およびスポーツを通じた女性のエンパワーメントの促進を図ることが重要である。

目的

- 難民とホストコミュニティの相互理解促進および難民の現状への理解促進
- 女性のエンパワーメント向上
- TICAD8とJICA事業の認知向上

活動内容

- 女子サッカートーナメント「TICAD CUP2022」を開催
- JICA海外協力隊による日本文化の紹介や劇などのソーシャルイベント
- 日本の団体・企業よりスパイク/ユニフォームの寄贈

成果

- 難民・難民受入れ地域混成チームを含む計6チームが参加するイベントを政府機関、国際機関、民間企業等と協力し開催した。
- 南スーダン事務所の協力の下、南スーダン青年・スポーツ省から次官を含む3名がオブザーバーとして参加。大会期間中と実施後にJICAとウガンダ政府関係機関に、南スーダンがこれまで培ってきた「スポーツx平和構築」の知見を共有した。